

通訳案内研修 1月30日<鹿児島>

南国鹿児島の冬の清々しい青空の広がる1月30日土曜日午後のひととき、(13:15-17:30)、鹿児島市のかごしま国際交流センターにて登録研修機関の通訳案内研修が開催されました。

参加者33名(会員7名、非会員26名)で鹿児島県内の通訳案内士28名、他に新潟県、広島県、福岡県、大分県、宮崎県からもはるばる各1名ずつご参加いただきました。

会場は2020年4月オープンしたばかりの新しい施設で鹿児島出身の京セラの稲盛和夫会長の寄付を基に、市民と外国の方々との親善・交流を深めるとともに国際理解の促進を図る目的で建設されました。お向かいには広い芝生の広がる公園、遠くに桜島が白い煙を吐いています。今回の通訳案内研修にふさわしい会場だと思いました。

研修室(60人収容)を借りて、今回はコロナ対策の為半分の定員で募集をして、入り口で検温・手指の消毒をして入室、会場は時間中窓を少し開けたまま、休憩中は窓とドアを開けて換気をしつつ、細心の注意を払って開催しました。

このコロナ禍の厳しい状況の下で、それでも熱心に、遠方からお集まりいただき、観光庁の登録のための研修要請内容の旅程管理と危機管理の講義を約3時間、みっちり学んでいただきました。講義で使用したJGAの内容の濃い充実した研修テキストは、参加者への特別なお土産としてお持ち帰りいただきます。

ユーモアを交えた講師のトークに時折笑いもでながら無事に講義終了、修了テストも全員合格して、修了証をお渡しして帰路についた皆様でした。お帰りになる際に、皆様からとても有意義な研修だったとの感想をお声掛けいただき、この状況下で開催できたことに参加の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいになりながら、お見送りしたことでした。以上、ご報告いたします。



通訳案内研修<鹿児島>担当理事 内山真弓